



## ACPF 札幌支部から

札幌支部・主幹 田 中 燈 一

昨年（2020年）初めからのいわゆる「新型コロナ」のために、当支部も例年と同じ活動ができない状況ではありますが、札幌支部の歩みと現況をお知らせしたいと存じます。

尚、毎年2月に行われ70年にわたって続いてきている「札幌雪祭り」は、昭和25年のスタート以来、今年（2021年）は初めての中止となってしまいました（尚、オンラインでの小規模な催しは行われますので、こちらでどうぞ↓）。

[オンラインさっぽろ雪まつり 2021 ~みんなでつくる雪まつり~ \(snowfes.com\)](http://snowfes.com)

### 《札幌支部の発足から今日まで》

1. 札幌支部は、平成4年2月に設立され、初代会長には元札幌市長（当時国際プラザ理事長）の板垣武四氏が就任しました。主幹は当時札幌保護観察所長であった辻田晶計氏でした。
2. 以後会長は、鈴木茂氏（札幌商工会議所会頭、元拓銀頭取、元 JR 北海道代表取締役）、山根喬氏（元札幌弁護士会長・弁護士）、高橋一浩氏（国策建設(株)代表取締役）、吉岡征雄氏（弁護士）、そして現在の西川克行氏（弁護士・元検事総長）と変わり、発足からこの2月で29年をむかえます。

現在の会員は、法人6社、個人19名です。最盛期の人数からみると少し寂しい気持ちですが。

3. ACPF ができてまもなく、本部は勿論全国の支部が財政的にも会員数でも余裕があった頃は、皆様も御存知のように、国内の各支部と海外の協力団体とが姉妹提携をしたり友好協定を締結したりしていました。

札幌支部もお話しはあったのですが、結局姉妹提携には至らず、しかし当時はよく海外支部を訪問させていただいていました（毎年のように視察ツアーが企画されていたと思います）。

フィリピン、タイ、マレーシア、韓国等々、札幌支部からは参加した時もあるれば参加できなかった時もありましたが、みな得がたきありがたい経験でした。

### 《札幌支部の恒例行事》

1. メインとなるのは、年1回のアジ研の研修生を招待しての交流会及び札幌高検検事長あるいは地検検事正の講演会、です。その他は、札幌刑務所訪問会等を企画したこともあります。しかし、個人会員のほとんどが保護司や弁護士であり、既になじみのところであった他、期待していた一般会員企業からの参加者が少なく、継続はしていません。



札幌支部講演 2010年

2. 研修生をお招きしての研修・交流会は、秋に行っていましたが、せっかく雪の札幌に来るといので何とか真冬にできないか、という話もあり、2月に行ったこともありました。

しかし、さすがに雪祭りの真っ最中は、ホテルもエアも高い（あるいは無い）、ということで断念せざるをえず、冬の開催は、雪祭りの片鱗が見える開始日の前日あたりを狙って行っていましたが、それでも大好評でした。

多い時には、研修生 25 名、アジ研スタッフ 8 名が来札され（流石に、全額当支部持ちではありませんでしたが）、交流会には総勢 130 名を超える人数となって大盛況でした。

最近は、予算の関係もあり、本部からの来札は 5 人程度となってはいますが、中身の濃い楽しい企画を工夫しています。

招待行事の時期も、元に戻り 9 月頃になっています。



アジ研参加者と共に 2017 年

3. また、検事長（検事正）講演は、毎年 2 月後半頃（招待行事が重なる時は時期を調整して）開催しており、時の札幌高検の検事長ないしは地検の検事正に、時々テーマでお話しをいただいています。

参加するのは、札幌支部のメンバーが 25～30 名程で、他に、毎年高検や地検からも若手検事にも参加してもらい、交流会で大いに支部会員と語ってもらうようにしています。

現札幌支部会長の西川弁護士も、札幌高検検事長の時に講演していただいています。同氏は、アジ研の教官時代には、海外参加者を連れて札幌支部を訪問していたこともあり、その後検事総長を経て札幌に戻り、札幌支部の会長を引き受けていただいております、まさにこれ以上ない方を迎えることができました。



札幌支部懇親会 2019 年

### 《札幌支部の今後》

札幌支部では、従前の活動を継続しつつ、少しずつ会員を増やして、札幌らしい（必ずしも雪祭りに日程を合わせるだけとは限らないでしょうが）活動を続けていけたらいいと願っています。

全国の各支部さんの活動を参考にしつつ、海外からの参加者の方々に、日本各地の良き思い出づくりの一端を担わせていただければ幸いです。

以上